

オーマイニュースアジア版の創設を！

韓国のみなさん、初めまして。

私は、日本の宮崎市で市民記者をしている大谷憲史と申します。

オーマイニュース日本版の市民記者として、初めて記事が掲載されたのは、2007年2月でした。それから08年8月21日までに、600本の記事が掲載されました。

私は地域からの情報を発信したいと言うことで、カメラを持って歩き回り、自分が見たもの聞いたものを中心に記事に書いてきました。

以前、小学校の教師をしていたことがあり、中国の上海市にある上海日本人学校にも3年間勤務していたことがありました。中国での3年間はとても勉強になり、その頃から私が暮らすアジアの国々の様子をこの目で見たいという気持ちを持っていました。

オーマイニュース日本版に参加したことで、07年末に、韓国仁川市のオーマイスクールで開催された「市民記者交流会」に参加することができました。とてもうれしかったです。私は韓国語は話せませんが、通訳の方を通して、オ・ヨンホ代表や、実に多くの韓国の市民記者のみなさんと朝まで話しました。

現在も、兪信濬記者、禹廣煥記者らとメールで情報交換をさせていただいています。

このつながりがこれからも続くことを願っていました。

しかし、オーマイニュース日本版は、9月1日から「Oh!myLIFE」ということで、ニュースサイトとしての看板を降ろしました。経営上の問題ということですが、これまで地域から日本全国に向けて記事を書いてきた市民記者にとっては、その情報を発信する場の一つを失うことになりました。

これは単に、「市民メディアのサイトの一つが消えてしまった」という簡単な問題ではありません。

オーマイニュース日本版は、韓国と日本の市民記者のつながりまでも断ってしまったのです。これは大きい問題です。私は、オーマイスクールでの市民記者交流会で、オ・ヨンホ代表に次のようなお願いをしました。

「このオーマイスクールに日本の市民記者の足跡を残したり、オーマイスクールのホームページに交流のコーナーを設けたりして、韓国と日本の市民記者のつながりを深めてほしい」

その後私は、オーマイスクールに出かけてはいないが、このままつながりが消えてしまうのは、非常残念なことです。

日本には、オーマイライフのほかに、ツカサネット新聞、JanJan ニュースなどの市民メディアがありますが、韓国と市民レベルで交流のある市民メディアはオーマイニュースだけです。

韓国は儒教の国で、先祖を敬い、隣人を大切にする国だと聞いています。

実際、市民記者交流会で、韓国の市民記者のみなさんに親切にいただきました。お互いの国の違い、考え方の違い、歴史認識の違いなどがありますが、人間として基本的な態度である相手を思いやるという点では、とても有意義な3日間を過ごしたと思います。

日本の市民記者たちが立ち上げたサイトもあります。日本の市民記者は、なんだかんだと議論しあっても、オーマイニュースは残してほしいと考えていますが、オーマイニュース日本版の経営上の問題で、復活することは難しいと思います。

そこで、ご提案です。

本家であります韓国オーマイニュース内に「日本部」を設け、そこに日本の市民記者が投稿できるようなシステムはできないものでしょうか？

オーマイニュース日本版がニュースサイトとして存在しない現在、韓国オーマイニュース、オーマイニュース英語版に次ぐニュースサイトとして、「オーマイニュースアジア版」なる形で、私たち日本の市民記者も参加できるようになれば、オーマイニュースとして可能性も広がるのではないかと思います。

韓国の市民記者のみなさん、この私の考えをどう思いますか。

ぜひともご検討をお願いいたします。